

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	【重点】千葉市都市公園安全・安心対策事業（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	千葉市													
計画の目標	本市では、「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」（計画期間 平成24年度～平成33年度）にもとづき、公園利用者の安全・安心の確保を図るため、公園施設の計画的な改築等を進めます。 都市公園安全・安心対策事業（支援事業）では、公園利用者の安全・安心の確保を図るため、遊具の改築や、遊具以外の施設改築を進めます。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		489	A	489	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）		（R3末）
1	早期に改築が必要な遊具の改築完了率（H29年度 52% → R3年度 93%）			
	早期に改築が必要な遊具の改築完了率（%） ＝（改築済み遊具数 / 長寿命化計画に定められた早期に改築が必要な遊具数）× 100	52%	%	93%
2	早期に改築が必要な遊具以外の公園施設の改築完了率（H29年度 0% → R3年度 71%）			
	早期に改築が必要な遊具以外の公園施設の改築完了率（%） 長寿命化計画に位置づける予定の公園施設を含む ＝（改築済みの遊具以外の公園施設が設置してある公園数 / 長寿命化計画に定められた早期に改築が必要な遊具以外の公園施設が設置してある公園数）× 100	0%	%	71%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
1）長寿命化計画に定められた早期に改築が必要な遊具数（436基）2）長寿命化計画に定められた早期に改築が必要な遊具以外の公園施設が設置してある公園（9箇所）												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	千葉県	直接	千葉県	-	-	千葉県都市公園安全・安心対策事業	公園施設長寿命化計画策定(85箇所)	千葉県	■	■				48		-		
	A12-002	公園	一般	千葉県	直接	千葉県	-	-	千葉県都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策（御成台2丁目公園等180箇所 における遊戯施設等の改築）	千葉県	■	■	■	■	■	358		策定済		
		一部策定済。重点配分対象とならない計画は、千葉県都市公園安全・安心対策事業（防災・安全）にて策定。																			
	A12-003	公園	一般	千葉県	直接	千葉県	-	-	千葉県都市公園安全・安心対策事業『（5か年老朽）』	長寿命化対策（松ヶ丘公園等58箇所における遊戯施設等の改築）	千葉県					■	■	83		策定済	
												小計							489		
											合計							489			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

千葉県都市局公園緑地部緑政課にて実施

事後評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

千葉市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

計画期間中に設定した定量的指標の達成度に対しては、甲府対象外事業（市単独事業や、協定に基づく企業からの寄付金による遊具の改築）の寄与が一部あるものの、交付対象事業（長寿命化計画に基づく遊具改築）の寄与が大部分を占めている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

次期社会資本整備計画（計画期間R4～R6）においても、引き続き公園施設の長寿命化計画に基づき、公園を安全に楽しく利用できるよう、遊具などの計画的な改築を進めてまいります。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	93%	劣化等が著しい施設の対策を優先したため、一部の施設については、先送りにせざるを得なかった。
	最 終 実績値	86%	
2			
	最 終 目標値	71%	劣化等が著しい施設の対策を優先したため、一部の施設については、先送りにせざるを得なかった。
	最 終 実績値	36%	